



今年の高3生は本当に良く頑張りました。

藤原巧君(福山市立高校) 京都大学、上智大学、早稲田大学、
慶応大学、同志社大学

井ノ内 美浦さん(大門高校) 島根大学

豊島千明さん(大門高校) 県立広島大学に見事合格してくれました。

2人は今月末にそれぞれ京都、松江に行くそうです。
その前に尋ねてきてくれました。一緒に勉強した何年かが走馬灯の
ように駆け巡りました。私にとっても非常にやりがいのある授業で
した。卒塾して行った皆さんがこれからますます頑張ってくれるこ
とを期待します。

と、同時に今の在塾生も先輩に負けることなく一生懸命に精進し
て欲しいですね。

今年は例年より早く塾の入り口の桜も満開です。



部活と勉強の両立にチャレンジ!

クラブ活動と勉強を両立させることは中学生にとっては永遠のテーマかもしれません。それだ
け両立は厳しいということなのです。

学校の授業が終わってクラブ活動が始まります。ときには休みの土・日に練習があることもあ
ります。また、授業後にしても、何時までやるかはクラブの種類、顧問の先生の熱心さ、大会で
の成績の良し悪しによって違ってきます。練習もほどほどのクラブだと家庭学習の時間まで圧迫
することはないのですが、練習がハードなクラブだと家へ帰って来ても食事をして寝るだけとい
う、何だかクラブ活動をするために学校へ行っているのではないかと錯覚を起こしそうになるケ
ースもあります。それではどうしたらこの両者を上手に両立させることができるでしょうか。

2013年4月 予定表

1	月	17	水	
2	火	18	木	
3	水	19	金	
4	木	20	土	
5	金	21	日	
6	土	22	月	
7	日	23	火	
8	月	24	水	
9	火	25	木	中1月例テスト
10	水	26	金	
11	木	27	土	中3月例テスト
12	金	28	日	
13	土	29	月	昭和の日
14	日	30	火	中2月例テスト
15	月			
16	火			

朝型の勉強を取り入れる

勉強の時間割を朝型に変えるのもひとつの手です。宿題と復習は夜のうちにやっておいて、予習
や毎日やると効果の上がる計算練習や漢字練習を朝にまわしてしまうのです。朝型ならテレビの誘
惑もないので勉強は確実にこなせます。ところで、朝早く起きることは最初はつらいと思いますが、
慣れてしまえばさほど苦にはならないものです。とにかく最初のうちは保護者が子どもを起こす役目
を果たさなければなりません。

ノルマ式勉強法

帰宅が夜遅くなるような場合は、いっそのこと家庭学習の時間割そのものは大ざっぱなものにして、
その代わり“1日に絶対これだけはやらなければならない”というノルマを設け、それができればそ
の日の勉強は終わりという方法をとればよいでしょう。この方法は、自分で効率のよい段取りを考え
てやっていけるかどうか鍵になるもので、それだけにクラブも一生懸命にやっている、勉強もでき
るというタイプの生徒によく見られる勉強法でもあります。

好きなことをやっているという意識を持たせる

クラブ活動は義務ではありません。自分が好きなものを任意に選ぶことができます。お子さんがク
ラブに入るとき、どのクラブにするかはお子さん自身が決めたいはずですが、ですから、お子さんがもし
クラブの練習がきつくて、それを理由に勉強をなまけるような態度に出たときは、以下のことを確か
めてアドバイスしてあげましょう。

1. 部活動が上手くなるためには練習がきつくて当たり前
2. 部活動は自分で決めて入ったもの
3. 中学生の本業は勉強であること

この前提を十分認識した上で、最適な学習法と一緒に考えてあげることが必要です。

< 中学3年生 >

受験対策は1学期から始まる

高校入試、大学入試を問わず受験する側の推薦熱は年々高まっていて、高校入試では特に公立の推
薦が人気を集めています。しかし、特に公立上位高の推薦は、私立の推薦とは異なり倍率がとても高
い、いわゆる「狭き門」です。あわせて、大学入試でも見られるように、一定の学力検査を経ずに入
学した生徒の学力の低さが問題になり、上位高ほど推薦枠を小さくする傾向にあるようです。このた
め、公立高校受験の推薦入試だけを目指すという考え方は、特に難しくなりつつあります。

とは言え公立の場合は一般入試においても、内申点が必ず加味されますので、日頃の学習をおろそ
かにはできません。内申(特に、成績に関する項目)の良し悪しが合否の分かれ目になることもあり
ます。ですから、内申点に直接影響してくる中間テストや期末テストには万全の体制で臨まなくては
なりません。その中でも特に中3の1学期のものと2学期のものをもっとも重視される傾向にありま
すので、新学期当初から気を抜かず学習に取り組む必要があります。

また、入試の条件や基準は毎年少しずつ変わってきていると考えた方が無難です。学校の先生に話
を聞いたり受験情報誌を読むだけでなく、自分が受けたい高校を今年受験した先輩に話を聞いたり、
早めに学校訪問をして、細かな情報をいち早くキャッチしておきましょう。同時に推薦の仕組みなど
を正しく理解しておくことも大切です。特に私立高校の推薦は、公立と違って推薦基準がはっきりし
ているのが特徴で、たとえば5教科で内申が20とか18といったぐあいです。この20とか18
というのは通知表の5教科の合計で、この場合1教科の平均が4程度は必要であることを表してい
ます。このほか作文、基礎学力テストなどが課されますが、内申は重視されると考えたほうがよさ
そうです。



2月に図書券をゲットした人

佐々木 博章